

寄付金 振込み口座

振込先：
浜松信用金庫 駅南支店
普通 2088022
一般社団法人みらいTALK

ご寄付をいただいた団体・企業・医院・商店等のお名前は、その年に当会が主催するシンポジウムや講演会の配布資料に掲載させていただきます。

■お振込の際に、みらいTALKのHPにあります[協賛広告お申込みフォーム]へお名前、ご連絡先のご記入をお願いいたします。

■お知らせいただいたお名前、ご住所、お電話番号は、みらいTALKが責任をもって管理し、上記以外の目的では使用いたしません。

■食品の寄贈も大歓迎です！物品寄贈の場合には、まず法人事務局までご連絡をいただければ幸いです。



みらいTALK

障がいの有無や家庭環境に関わらず、浜松市及び近隣の地域に住む全ての子どもにとってより良い未来、地域社会を築くことを目的とし、子どもに関わる多職種（医師、保健師、臨床心理士、保育士、弁護士、ソーシャルワーカーなど）が集まり、2009年5月より“子どものより良い未来を創る会”として活動を開始しました。2013年4月より“みらいTALK”に改称し、2016年4月に一般社団法人となりました。

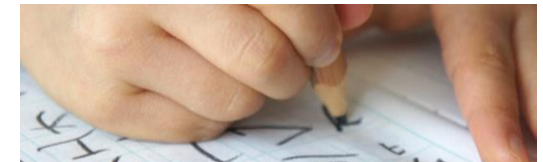
主な3つの事業

- ・勉強会・講演会等の啓発事業
- ・障がいをもつ子どもと家族のための防災支援事業
- ・生活困窮家庭への学習支援事業

子どもと家族、そしてそこに关わる人々を“つなげる”“ささえる”“しらべる”“ひろげる”事業を展開していきたい、と考えています。

<http://miraitalk.net>

JuiceClass ご支援の お願い



生活困窮家庭に育つ子どもたちへ
学習支援を行うため
皆さまのご支援・ご協力をお願いいたします

子どもの教育にお金を払えないのに、親は車や携帯電話を持っているのか？という疑問があるかもしれません。親が子どもに関わる時間を確保できない生活を送る家庭にとって、携帯電話やゲームは、一般的な家庭よりも必須ツールなのです。家賃の滞納が即退去につながる、欠勤が即退職につながる・・・ぎりぎりの生活を送る親は、地域からも孤立し、子どもへの長期的視点を持つことが難しい状況にあります。

しかし、子どもが健やかに成長するには、おとなからの経済的・精神的な支えが必要です。

乳幼児健診の未受診、幼児期からのう歯、肥満、受診の遅れ、学習不振などは、生活困窮が要因のひとつとされています。日々出会う子どもたちの中にも、生活困窮の背景があるかもしれません。

子どもたちが希望を持って生きることは、個人の問題のみならず、社会の安定、経済成長にもつながります。ぜひご支援をお願いします。

学習支援事業について

みらいTALKでは2016年11月より生活困窮家庭の学習支援事業を開始しています。

★アウトリーチ型(家庭教師型)学習支援

ひきこもりや不登校、経済的理由で通所が難しい子どもの自宅を福祉専門職等と大学生ボランティアが訪問します。

★通所型(塾型)学習支援 Juice Class

通所が可能な子どもに、福祉施設を会場としてお借りして学習支援を行います。学習のあとには“おやつごはん”の提供も行っています。(2017年4月開始)

例えば、小児科で受診を終えた子どもたちは、飲み物を買ってもらうことが多い、ごくごくジュースを飲むことでそれまでの緊張を切り替えているのかもしれませんが、JuiceClassという名には、子どもたちのほっとする心とともに、協力者たちがミックスジュースのようにそれぞれの持ち味をいかせる、そんな願いがこめられています。

★講演会等による啓発活動

2016年9月 ● 杉村佳代子氏(てのひら)/支援を必要とする子どもたち-生活支援・学習支援からみた現状-

2017年2月 ● こどもサポーターズとしま/子どもたちはみんな輝く未来を生きる価値がある~学習支援事業を通して見えてくる子どもたちの今と未来~

〈予定〉

村松奈緒美氏(弁護士)子どもの権利について

前川喜平氏(前文部科学省事務次官)子どもの貧困とみらいを語ろう

JuiceClassの夜

18:00

子どもたちのお迎えバス出発

大学生ボランティア：学習支援準備

社会人ボランティア：全体準備・食事づくり

18:30

子どもたちを乗せたお迎えバス到着・学習開始

19:30

おやつごはん



20:00

子どもたちのお送りバス出発

ボランティア：片付け・本日の振り返り

21:00

終了



必要とする資金2,000,000円/年

子どもたちへのサポートには下記の資金が必要です。

- JuiceClass運営費
- 送迎バス代・食材料費・教材費
- 会場費・ボランティア交通費等
- ボランティア研修費

JuiceClassに通いたくても、保護者が夜間も働いていて、通ってこられない子どもたちがまだまだたくさんいます。送迎など、さらなる充実が必要です。

ボランティア

★学生ボランティア

4大学からの参加

登録30名、1回の参加平均12.7名

★社会人ボランティア

保育士・社会福祉士・医師・臨床心理士・弁護士・元教員・保健師など専門職が多い

登録32名、1回の参加平均11.2名



定期的にご協力いただいている機関

- 松下クリニック(浜松市中区)
- 天竜厚生会 城北の家

子どもたちを支えてくださる方々を増やしていくこともまた私たちの重要な役割と考えています。